

キ ラ つ よ
ま ラ よ ラサ
e ま よ

トヤキ 、 よ ス よ
、 トヤキ よ

□ よ □

つ あ つ よ

みけ
つお ヤ つ 』

ラサ ま つ』



0 4 03

「0. 0.	り	の うで	せ い」の
	り	の	。

の争 5 を 「 り の うで せ い」
 1 お の の あ と り

り 53 の うで争 すれい う
 あい て お と り
 あ

の 今 の
 い の お で り い
 の 「0. 0. 。

の い で あ と の う
 あ

今 の あ

今2 今 4 5 の

『え あ に 』

を
【 51. . . 31. 67.
8 60 320 4753. . 8 60 023 . 363.
j u pm s ah.

2020年6月23日
広島大学平和センター

2020 学生ヒロシマ「平和」を考えるサミット
開催の趣意

戦後、国際社会は自由で開かれた国際協調主義を標榜し育んできた。経済のグローバル化が進展する一方、これに伴う影の部分として、途上国における貧困、気候変動、新興・再興感染症などの公衆衛生や難民問題が深刻化していった。これらのグローバル課題は、一国だけで解決することは困難で、国境を越えた世界規模での協調の必要性は常識であった。議論はあったにせよ、国際社会はグローバル化の瑕疵を反グローバリズムによってではなく、グローバルな協調によって乗り越えようとしてきたのである。

ところが今般の新型コロナ禍は、一国では解決できない問題であるにもかかわらず、戦後75年長きにわたって構築されてきたグローバルな協調体制を根底から覆すような事態を招いている。皮肉にも、各国は自国を考えることで手一杯となり、他国との協調を捨てた「自国第一主義」が広がりつつある。

こういった時代であるからこそ、「平和」を標榜する広島大学は、冷静にポスト・コロナの社会を見据えて、自国主義に陥らない国際協調による「平和」を模索し、具体的な提案をする使命を負っている次世代を担う学生を中心に、ポストコロナの「平和」を自由闊達に議論してもらう場として、2020 学生ヒロシマ「平和」を考えるサミットを開催する。

2020 学生ヒロシマ「平和」を考えるサミット: 募集要項

1. 趣旨・目的

選抜された広島大学の多国籍の学生が、「平和」の重要性・意味について議論、発表します。原爆、虐殺、捕虜虐待や飢餓など人類が直面した惨劇を真正面から捉え、そこから和解と恒久平和に向けた教訓を得ながら、未来の世界について考えます。

2. 2020 年のテーマ

世界は新型コロナウイルスの流行によって、人々の健康は脅かされる中、私たちの社会は生活防衛のために日々、戦っています。しかし、事態が長期化するなかで、核廃絶に向けた知的対話、真剣な議論の火を消さないことも、また重要です。例えば、新型コロナ禍によって NPT 再検討会議は無期限延期されている状況を考えてみれば、核軍縮の議論は事実上、棚上げになってしまっています。したがって被爆 75 周年を迎える本年は、ポスト新型コロナウイルス時代の世界も見据えつつも、他方でヒロシマの経験という原点に立ち返りながら、被爆経験の継承と核廃絶の取り組みのために市民社会、国際社会が成すべき原則を構想し、普遍的平和を目指し「2020 学生ヒロシマ宣言」として発表します。

なお、新型コロナ感染拡大の影響がなければ、広島大学外の大学生の参加も考えていましたが、2020 年本サミットへの参加資格は、広島大学の学生に限定します。

3. 実施内容 2020 6 7

- 必要書類:
 - 出願フォーム(Application Form)
 - エッセー「新型コロナ後の世界におけるヒロシマの役割について」(氏名とタイトルをのぞき、英文で500-800 Words)
以上をメールで送付する (heiwa@hiroshima-u.ac.jp)。表題には「Application for 2020 Student HIROSHIMA Summit」と明記のこと。

- 選考結果:
 - 平和センターのメンバーが最終候補者を選考します。
 - 最終候補者には 2020 年 6 月 12 日までに連絡します。

5. 問い合わせ

The Center for Peace, Hiroshima University

広島大学平和センター

〒730-0053

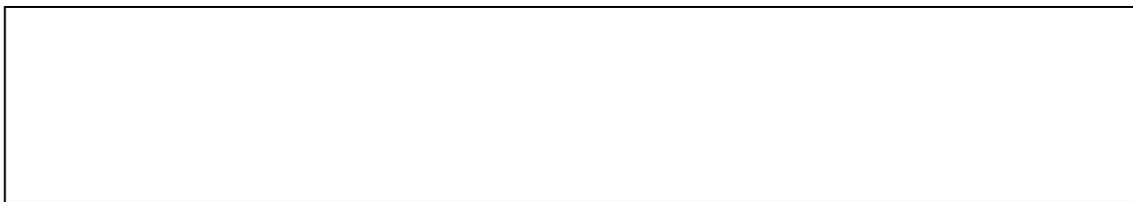
広島市中区東千田町 1-1-89

TEL 082 542 6975

FAX 082 245 0585

E-mail: heiwa@hiroshima-u.ac.jp

なお、選考過程に関する問合せには応じられませんのでご了承ください。



し ! し !

し う
し し

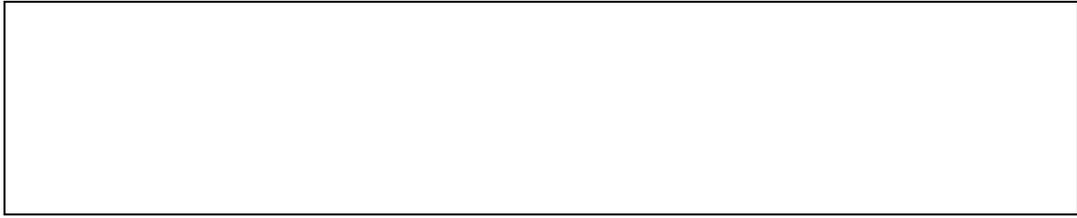
し し

!

し ・ ・ し し ・ ・ し し

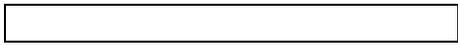
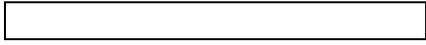
す す ざく

す は ざや さごす す あどい
す ざ あ さ あどい
す ざ あ す あおどど あどい
す さ ざさ さ











' , - . / - <xyz bRÃÄÅOM¯ OÆÇQZU1 234f <xyz uXst PQZUœ• ` no+ÈÉObÊ± UÈÌ Oí \]'

' { | +Î OSİ ĐOPQÑPRs t ` XÒÓSÔU]'

Õİ ĐbRÎ +1 234f <xyz u+ÖZbRx<£<#noØ<q#" » +VWSÙÚXPQR, - . / - OÛÜ ÝÞBS• ZU<xS[\ à á SâãĐXäYÍ OORÛÜÝÞBS• ZU<x-âæ+çä) èéOROèÄë <x ì +í î ï µS° | ØORðñòóô+<ñõöì +÷øSùí [\ Î OO[]ú'

' { | +st +ûüSÑPRýþPQZUÿZU]'

q' x<ñ(#noØ<• #ÅO+ '

•' O Ob ê + rÍ R[OX O+<xS ‡QZ\ '

•' ObwXR, - . / - <xyz Oœ• [\ • S Oè\ '

(' 1ÚS O ø[\ U‡R' • S/ - -β• æOè\ '

*' <x™• ~bRx<ñ£<#noØ<q#" » OR Oè™• ~noö [\]'

%' ² rœ• [\ O •æ+ ørOè\ '

<' (e" »+' " O+5TS ýZUÿ \ '

Ž' O_ QZUÿ \ '

' +<, + <S ýZUÿ \ '

' q^ +² oZ <xyz+ ÄSPÖ d^' ²³O' <5µús X [\]'

'

' R XYZQ •æO [\]'

' + /æ •æO øPR •ænoR •

X /æS R Sö PQ o]'

' &ÅOXRst É` b •æOÃ+Ó S Q o]'

'

'

'

'

(氏名) (年 月 日)

5 お酢で化学実験

お酢を使って、化学実験をやってみよう!

当日までに以下のことをやりましょう。

準備物を確認して用意しよう。

お酢(食用)	約20g	ペットボトル (炭酸飲料用)
炭酸飲料のペットボトル	2つ	
紙幣	約10cm四方	
ストロー	3本	
はかり	1台	
計量カップ	1つ	
漏斗(ロート)	1つ	

10cm四方程度の紙幣を1枚用意してください。よく冷えた飲み水を用意してください。

お酢 120mL軽量して用意してください。

重曹(食用)を用意してください。5g軽量して使ってください。

ペットボトル、ストロー、漏斗、500mLのサイフォンを用意してください。

ペットボトルは洗って、乾かしておいてください。

ペットボトルははかりで5gを測ります。計量カップでは120mLを測ります。

' • • İ { + /æS • æO øPR + • X ¿PQ o]'

' + xS QZ\]'

' + 7S • æO ø[\]'

' ~ BX ÇUo PQR5T[\]'

5T+ b{ | +Î OX ÓS ÇU]'

) ´ ÄU O PSäç [æ[\]f PU r æQ X ‡\u'

) R ùOR O SÃ \]'

) Ì R ôÌ S ÐXœ•PQR <xR ô<xSÆZRM~ BS X[\]'

) 1Ú R1Ú+ X X ePR O+ OR \ X[\]'

) +ËÌ + S ~ +j Î nX • O¾Ñ[\]f \~ BR æ~ BR5µ[\~ B u'

) p÷+ X ÊU • -f ÆZZ ú Û- R ÞBu'

) VWS ~X O Ñ[\]'

) X [\~ BSÓ ÐX [\]'

) + Æ S™å-βéOÑPU R [\ SÑPU [\]'

' ôXbn o R ÛS [\Î OORq~ Bÿ +Ë

Ì O o Z R ô+~ B Ë• Oê\ XPU] ''

(氏名) (年 月 日)

ふかえ ぼりぼり びんを冷ます方法 (みみ)

<結果を答へよう>

1 どうして、冷水のペットボトルが、このようになったのかな？

<応用しよう>

2 ビデオを見てください。今日の授業で

玉を

大きな容器には、本授業で収集した気体が入っています。そこにシャボン

入れると、どうなっていますか？ どうしてそうなりますか？ 考えてみよう!



https://youtu.be/9yiW-ts_dkQ



{ | X F O d ^ ' 2 3 O ' < 5 μ S Ñ [\] ' }

(氏名) (年月日)

STEP 1 事前の準備

必要な材料

- ペットボトル (1.5L)
- 重曹 (食用) 約20g
- 炭酸飲料のペットボトル 1つ
- 風船 (3つ)
- ストロー (3本)
- はかり (1台)
- 冷えた飲み水

準備物が揃っているか、確認しよう!

お酢 (約500ml)	風船 (3つ)	ロート
重曹 (約20g)	ストロー (3本)	計量カ
ペットボトル (3本)	はかり (1台)	冷えた

手順

1. 風船に重曹を入れる。
2. 風船の口にストローを挿し、ストローの反対側を冷水のボトルに挿す。
3. 風船の口を徐々に緩めて、風船の中の気体を、冷水のボトルに入れよう。
4. 冷水のボトルの蓋を閉めよう。
5. 冷水のボトルを振ってみよう!
6. ペットボトルはどうなりましたか?
7. 飲んでいいますよ!

家にある、
粉や液体を混ぜるときは、
かならず
大人と一緒にやりましょう。

(氏名) (年月日)

STEP 2 やってみよう

重曹とお酢を混ぜたらどうなるか、それは何なのか確かめよう!

準備物が揃っているか、確認しよう!

お酢 (約500ml)	風船 (3つ)	ロート
重曹 (約20g)	ストロー (3本)	計量カ
ペットボトル (3本)	はかり (1台)	冷えた

手順

1. 風船に重曹を入れる。
2. 風船の口にストローを挿し、ストローの反対側を冷水のボトルに挿す。
3. 風船の口を徐々に緩めて、風船の中の気体を、冷水のボトルに入れよう。
4. 冷水のボトルの蓋を閉めよう。
5. 冷水のボトルを振ってみよう!
6. ペットボトルはどうなりましたか?
7. 飲んでいいますよ!

4. 実験の準備をしよう!

実際に落としてみよう。

手続き

<ロートを風船に差し込む> <風船に重曹を入れる> <ボトルの口に風船を付ける>

1) 2) 3)

5. 実験を何で記録するか考えよう。

記録を残しますか? はい いいえ

何かが起こります。何で記録しよう?

記録したものをここに貼り付けよう。

7. 確認しよう!

風船の中には、何が入っているのだろうか?

- 1) 空いているペットボトルに冷水を入れよう。
- 2) 気体が入った風船の口にストローを挿して、ストローの反対側を冷水のボトルに挿す。
- 3) 風船の口を徐々に緩めて、風船の中の気体を、冷水のボトルに入れよう。
- 4) 冷水のボトルの蓋を閉めよう。

まず、やってみるので見ておいてください。

5) 冷水のボトルを振ってみよう!

6) ペットボトルはどうなりましたか?

7) 飲んでいいますよ!

何の味でしょう?

記録したものをここに貼り付けよう。

実験を見逃してしまった人のためのビデオ

お酢と重曹を混ぜる実験

冷水と重曹を混ぜる実験

(氏名) (年月日)

STEP 3 ふかえ 振り返ってみよう

どうして、冷水のペットボトルが、このようになったのか?

記録

https://youtu.be/9yIW-ts_dkQ

{ | X F O d ^ ' 2 3 O ' < 5 μ ú + s t ` + • B S Ñ [\] ' }

(氏名) (2020年5月15日)

Step 1 お酢で化学実験

お酢を使って、化学実験をやってみよう!

事前の準備

準備物を確認して用意しよう。

風船	3つ
ストロー	3本
はかり	1台
計量カップ	1合
漏斗(ロート)	1つ
10cm四方程度の用紙	3枚
よく冷えた飲み水	約200mL

2 どういう風に使うか。

お酢 120mL 軽量して使います。
重曹(食用を準備してください) 5g 軽量して使います。
ペットボトル、ストロー、風船 500mLのサイズにしてください。この中で化学反応を起こします。ペットボトルは洗って、乾かしておいてください。
はかり、計量カップ

(氏名) (年 月 日)

Step 2 やってみよう

どちらが弾むか試してみよう。
<準備しよう>

1 準備物が揃っているか、確認しよう!

お酢(約500mL)	風船(2つ)	ロート
重曹(約20g)	ストロー(3本)	計量カップ
ペットボトル(500mL)	はかり(1台)	冷えた飲み水

2 <計量しよう>

重曹とお酢を計ろう。
お酢: 120mL 測る
眼の高さやメタリの高さを、同じ高さで平にする。
重曹: 5g
10cm四方の用紙に折り目をつけて、はかりの上に乗せ、重曹の重さを測る。

3 <仮説を立てよう>

重曹とお酢を混ぜると、何が起るかな?

4 <実験の準備をしよう>

実際に落としてみよう。
手続き

<ロートを風船に差し込む> <風船に重曹を入れる> <ボトルの口に風船を付ける>

5 <記録方法を決めよう>

実験を何で記録するか考えよう。
何かが起こります。何で記録を残しますか?

6 <実験しよう>

風船の中の粉をペットボトルの中に入れて、風船が外れないように押さえておこう。

e S ZQR S • Ó [\] ' }

r ÇQZ \ n R 3/4 X ® SY
Q POZ \] ' }

* Ob ^ X ^ PQZ \] ' ' % Ob R 5 μ + S X Ç Q
α R OZ \] ' }

7 <確認しよう>

風船の中には、何が入っているのだろうか?

- 空いているペットボトルに冷水を入れよう。
- 気体が入った風船の口にストローを挿して、ストローの反対側を冷水のボトルに挿そう。
- 風船の口を徐々に緩めて、風船の中の気体を、冷水のボトルに入れよう。
- 冷水のボトルの蓋を閉めよう。

まず、やってみるので見ておいてください。

5 <記録しよう>

6 ペットボトルはどうなりましたか? **1こんた**

7 飲んでいいですよ! **冷水の口を せうい**

何の味でしょう?

二酸化炭素

(氏名) (年 月 日)

Step 3 振り返ってみよう

<結果を記録しよう>

1 どうして、冷水のペットボトルが、このようになったのかな?

空には(から) 空気が水の中にとけて、空気の体積が減ったから。

2 <応用しよう>

ビデオを見てください。今日の授業で

大きな容器には、本授業で収集した気体が入っています。そこにシャボン玉を入れると、どうなっていますか? どうしてそうなりますか? 考えてみよう!

https://youtu.be/9yiW-ts_dkQ

上の炭酸水が起きていて、なかなかおちあがた。

完成したら、 ujima@hiroshima-u.ac.jp メールで送信しよう!

^ X ^ PU R S ÇQ
U POZ \] ' }

Û R Ì S PQR
+ S ZQZ \] ' }

'

• - • ß f!"! "#\$% && u'

! " # \$ % () * ! # \$ % & . / \$ %
%&% ' &% ' &+ , - ' + , - ' &+ , - '

10	23401 56789: ; <=>?@ AB@CDEFGHI J'	4	6	0	1	0
	2K401 56789: ; <=>?@ LI , AB@6MEFGHI J'	5	4	1	1	0
	2N401 56789: ; <=>?@ O- PQ5RSTFEGHI J'	6	5	0	0	0
	2U401 56789: LI , 5V W: X6EFGHI J'	7	1	3	0	0
-	2Y401 56789: Z[\] ^T @_` @abcdEFGHI J'	9	2	0	0	0
10	234efghi jklmn! Eop: p: qrsWtuHI J'	8	2	1	0	0
	2K4vwi xykl qrsWtuH I J'	8	3	0	0	0
	2N4ez{ : } ~{ 9: 5VQ • €m@EFGHI J'	6	3	2	0	0
	2U4• , STf„ @_` u...Qj s I n! EopqrsWtuHI J'	5	3	3	0	0
	2Y4† ‡ ZE: ^ %>?WfŠ< ... , (T€• TŽ: qrsWtuH I J'	7	4	0	0	0
-	234• , E• ' " 015678@' T" " • J'	0	0	6	3	2
	2K401 5678! • , @5678 Q-dsl - J'	7	2	2	0	0
	2N4• , T@5678T—~ sl - J'	4	4	3	0	0
	2U401 , *™: š> T@qr #œ BT• mJ'	4	4	2	0	1
-	2Y4• , T#: š> @cži • I™ qrsI - J'	5	1	4	1	0

' st ^ _ cdeØRcceno^ r ÔoÄU]'

İ O ™ Ü O^ PQZ\rR XŔ " <xyzbRÜÜÝß+ Z S< éO X Ç
U]Ŕ d <xyzbR | O+~ B+ Ě• X ÇU]úXYZQbR r ™ Ü ^ S

QZ\]Î +, -. /- <xyzObR<x™• ~S ‡RÃ+ Û Æ+ " OÛÛÝÞß+Ë• Sÿi ÐX5
[\Î OS™• ~XPOZUÎ OnoRÎ +Ï Ðb r í OêUO oÄ\] oXR |O+~B+Ë
• X X ÇUÎ OnoR XÛÛÝÞß+Ë• =r XYÿÿ O ðR no+~B+ P +éOR
Ó OÍ ÇUO oÄ\]'

' Q+ Î OR ™ Û ^ OÍ ÇU] XÐ! r ÄstP [nÇU]d { XR Þß
Õ •ú j O OêRstP [nÇU]ú+• ĩb Q+^ `r ™ Û ^ S POZU]
Õ SÑ[Û ´[\ú+• X PQ PU rRÖZ + S POZUÎ Or \]
oX, -. /- oOb+ • - + . ™ b + UçrstP [Z + YOÍ ÇU ý]'

' ! ô+R" #- Û• +œ• XYZQbR, -. /- + O+œ• SÉ O²o R rM⁻ SÉ OZ\ ++R
, -. /- +\$• SÉ OZ\Î Or nÇU] M⁻ ObR%Xq) • ^ +œ• X ÇQPÅ U‡Rœ• ^ aS%
[Î Or Î OOR, -. /- OÍ Äë' " O+Ë] r Oê\Î O j R\$• + ÞBS&âPOZ\ +O
oÄ\]'

{ |X÷' (S) *[\]'

+, -. /- <xyzr ð, Ø X ÇUÎ OrÍ Äë ÿ Z] -'

- O+. ¾/⁻ rÍ ÇQ nÇU]'
- O 1XÛÛÝÞß+ Z r no nÇU+O25µS PQ< Î O034OêUO ZÅ[]'
- 5µSP ro+<xr OQ 56rÍ ÇU O2 Ó ~BOPU]'
- 7PO 8X' Ø[\~ Br OêQ9nÇU]'
- : ; ÐX< ÄU] ð, Ø2xÇQZ Z -ß ÛS=>[\+X?ÄQZÅPU] 1@ r x ð
/. /. POZÅPU] 1234 ZY Å\n no ZO+ O2 , Xá ZAP O2 Ob
+ r Åÿ ZÎ XZÅPU] Ã ~2ZçBÿ, -. /- @, r Å , r. ÇQÿÿ ÇU
Î Or CPÿQ2 +D E• -rÍr 2 1 +F r; éÿ; ; ÐX< ÄÅPU]
1 r nÇUo2<ñ+GÛXH ÄZ +ð XÔ\ +r nÇUO ZÅ[]; I Jn PÄ ZO[r 2
Î + K%+, ...bL^ñX \M M +: ; +NS QO[\~BO Í ÅPU] , b XY P\
ÛSQ Qÿÿ 2ÃÄX \ çXRÿ+ rÍ ÅPU]'
- SÅO \ r OêU; Tê =@] <#{ é+ Ûr >êUZO ÇQZU+X2ZU no ZO;
\+n2Å n2Var ÇQÿ\ Q2Ã WSj \+n XÇQZÅPU] no ZOÍ b/-

Û•YpBOZ[U 2Z[Q r Yno \] ÅÇQđ^PU 2 , _ OZÅPU] ð, Øÿn
oÍ Ã2~BSn Q \Í Or OêUO ZÅ[]` AV+ Ý- '

- 5µS[\Í OO/ • rYê [æ2 " o56r ZVa+ÅVX , _ OZÅPU]; Tê
=@XbÅVrZ\]Va; ýO> rYZQZÅPU]ÀV• S Í OX 2VaaZrÅPX
ÅPU] bSGc• [\Í OX d Û+Pê [æ =>P [ZO ÇQÅPU]'
- E<ã+ rOêU] +e b U ++2@, Oj ÇQ ÇQZænLfr; ênÇU UZO[r 2
ghij@, S ÊQ/ • r êÅPU] , rÍ onÊ± n [Z S•ÓPQæÿ ÇQZU+O2-
k•I XZêÅPU]Í Ånob2 • PQ ZÍ POZæ+r ÛO[]ghijghijÅU2mO OZQ2n o
pX ÅPU] + b + rhÇQZÅ[r 27PHZY ÅPU] OQ opX ÅPU]'
- EU <qS<x[\+b ï O Äë PZ X Äj 2<xr + ÛOÍ Äë2' " O+, -
. /- @, b2 nÇUs S t ZuOOÍ \nr væOw • BOê\+OOQ XJ ÊÅPU] Å
U ï +, -. /- <xb2M~ PZ~rÍ \ Äj 2<ñO< xy n [Z, ... +
O2, -. /- @, S Ozb<qUr ÅPU]'
- , no+<x {SZUÿZQ ÇO<xXÍ 2; |U[n ÅPU]'
- +, -. /- <xyzXstPQR² +<x+ }OR> ~ZUÍ O |rÍ ÅPUo² n æÿ Z]-'
- ~BVX \+r`]ghij • rÅOÅo ZOêrÍ \]'
- êb` ++2<xÓ€bpZ+ÿOJ ÊÅPU]` Í OX• = , » f! 2<xÓ
€S, r Z S PQxÔ[[êÿOOOPQ...±Q<qÅPU] XOÇQ! ôÛÛÝPbB<x[\
éO+†‡•/™kX \O ZÅ[]Í + àáSZUÿêÅPUÍ OS^ J%ŠPéPÅ[]'
- 56rÍ \ <Xb2Í æqr Z]ghij56rÍ \ <Pn<xr Å Z]'
- ÷ + •BS PQZ\BX; • S êtPQZU PQZQ2 ÅZ~B+ Z 2 ÅZ@, +
r ÅÿÅÿ XYZQZ nÇU] æÍ OX' ØP ro- O • Bbôno • Æ\ S•
[\Í Or OêU] <ñO Ên \ XŽ• O 34[\]'
- no ZOêX Oê Z] , +• S ê ro+ , rOêQZ Z] æOê2 , [\Oê+Û/'
- rYn†QZ Z] ¾r OQ ' " PQZ\]Í OX> rYêÅPU]'
- nÇQZ\ ÛO 2 -. /- @, O ¾rÍ X ' " [\ ýOmO QZQ" ‡Q> rYêÅPU]
<ñ+s• &b SéP ZÅÅOPU] , -. /- @, b-> S PQ2 ~ PQ ¾P OPQZÅ
PU]'
- ¾OêU='] , r, ™r S \ÅOšÇQæÄQZUnof^PU] > + r Bæ Q , ™r Z
² [ÅOšÇQæÄQU] , -. /- ÿP2 , bÍ Çç+ Ý¿S Ä Z2 PUo• žJSÿ†Ä\
no " ÇQ U] | èn ¾P Z X, ™aS ~O PQç^X ^ ¾P OÀVPU] ,
R ; |ÿÇUno | " ÇU] ~/ S, XPOZU+b2 r~/ S Ä\OEæ - r[

\ O ÇU] ghij¥+ r \ O| §X \ O ÇU] O ÇQZÅPU] '

• " a O+@, O2 + O. ÄQCPÄ OPU], - . /- ÿnoÃ2÷ + ê [Z ©XPU 2
- • - ÞBSOÇU 2 ÞBOÓ S U PÅPU] a a f +Aeu+=&+@, ýÇU
UZO[] ^ ar «Ä\ OX2 S PQ ¾[\ Î Or OêÅPU] '

• , +- rêççOPQZ\ 2 ÅÇQZU 2- ®rÍ ÇU [\ r . Þ - ÆQZU] B⁻ O•
S Ä\ O rÍ ÇQ =>Oê Z ýÇU] ÅU2 Xb + >° Ob n ~oZ ±² q
O \ ör ÄQZU+ÿ ; 2Ã+³ X> ~ZU+r ÇUÍ OýÇU PQYZQZ¤+X: ´
OµñÿÇU] '

• ~ B rÍ \ 5µ nZ , S. ÇU ÇU b- ®+ , r £¤2+nr¹ X[\ r ÷° ^ 2
÷» ¼½S¾ X èèXst[\ Î Or Oê\ ýÇU] O¿ ô+5µO ZÅPU] '

• Ì ÐX<xPQZÅ r' ; ê Ì à X ÅPU] '

,

+Ã+> R! ô+<xyzXYZQ ÈÉS² n ¤ÿ Z] - '

• ÛÜÝÞß+Ë• <xì +Y P Sh UZ] '

• Àê êÁ • O+<x S1 QÃêUZO[] " X ÃÄZÅPU] '

• AB , ObÅ¤QM⁻ @, bÆPZ+O[r 2Ç È Ä\ Î OO[PO à Sh @, ~ B+ P X
YZQ34Oê\ X ÇQ² êUZO[] ! ^ b 'OPUr s X ÅPU] ! ÅO 2<ñ
+Ž• Oh S1 PYYÛÜÝÞßS ZÎ P ÉZZ S÷ O Æ\ X• POZêUZO[]
Ã+ÊX2ÅU, - . /- ÆñPQZUÿZUàáX• /- S² ÈZPÅ[] '

• Ø<, r \ =@+5µr PQ UZO[] ¤ X` ÝÏ - ; ¾[\ Î Oi +` Ó S7P
O Í COê\ „ ...SPQZUÿZUZO[] ² Ão¤2<ñObxÔr PÃ O[] '

• 1 O+' " +M⁻ Si µPQZ Z+O; çorZZn ; ‡oÃ Z+O[r 2zbÒË Î
SäY> +, ™ XáÇQ Í X<xPQ UZO ÇQZ\ O[] M⁻ O , - . /- O 2
1 vwyz1 O2Va2a<S<[\ àár% \ rCPZ O[] '

• ~ 4XQ +D E• - SéPUZ ' OJÊQ² Å[] '

,

,

' Ð +Í \ ÑÒ, ™+, - . /- <xyzS [\ Î OOR r oÄU ÿ] 7 ¤O
Ó r ÖZOPQZUÍ Ðb í OêU ÿ] oXR² r< S Í X U R Í XÛÜÝÞßS
[\ Î OOR Ô` + =>r ÿ R r ÇQZ ÛÜÝÞßOZ Öÿ+ +=> RÎ
Äno+<ñööSÖ[áÞÞn + YS OêUO oÄ\] '

' ! ô R, - . - +ÈÉbÍ \ Î OnoRöxOê\ ØÛS ‡QZêUZ] '